

第1期末（2024年12月5日）

基準価額	10,044円
純資産総額	33億円
騰落率	0.4%
分配金	0円

限定追加型

ニッセイ米ドル建て社債ファンド  
2023-11（為替ヘッジあり）

【愛称】ステディ2023-11

追加型投信／海外／債券

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2023年11月17日～2024年12月5日

第1期（決算日 2024年12月5日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「限定追加型 ニッセイ米ドル建て社債ファンド2023-11（為替ヘッジあり）」は、このたび第1期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイ米ドル建て社債Ⅰマザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

（9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



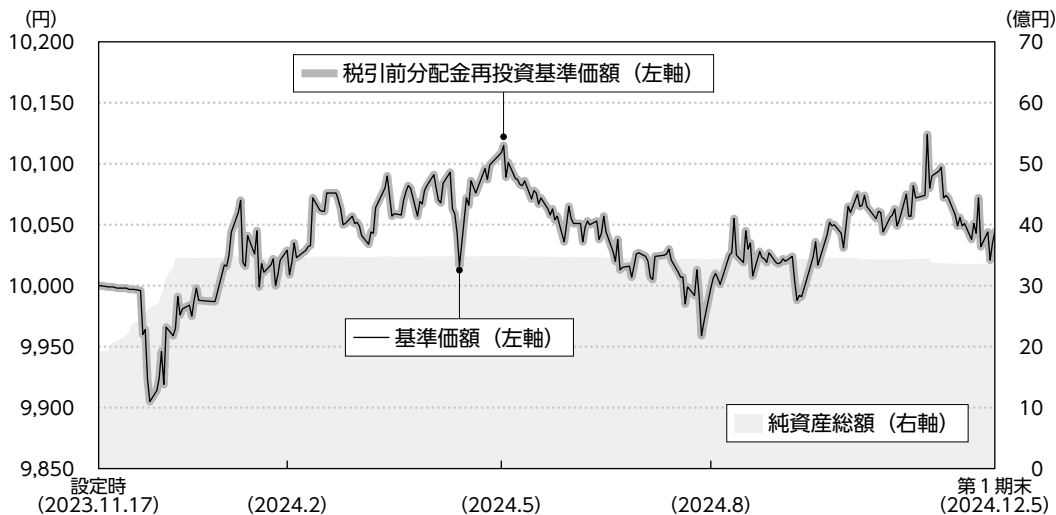
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2023年11月17日～2024年12月5日

## 基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第1期末	10,044円	騰落率 (分配金再投資ベース)	0.4%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## ■基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・為替ヘッジ後の社債利回りが低下（債券価格は上昇）したこと等
- ・保有する債券からの利息収入等

### <下落要因>

- ・為替ヘッジに伴う為替ヘッジ・コスト等

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	84円	0.839%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <p>期中の平均基準価額は10,037円です。</p>
(投信会社)	(41)	(0.405)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(41)	(0.405)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.029)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	4	0.038	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
(保管費用)	( 1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 1)	(0.009)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	( 2)	(0.016)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用</li> <li>・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息</li> </ul>
合計	88	0.876	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

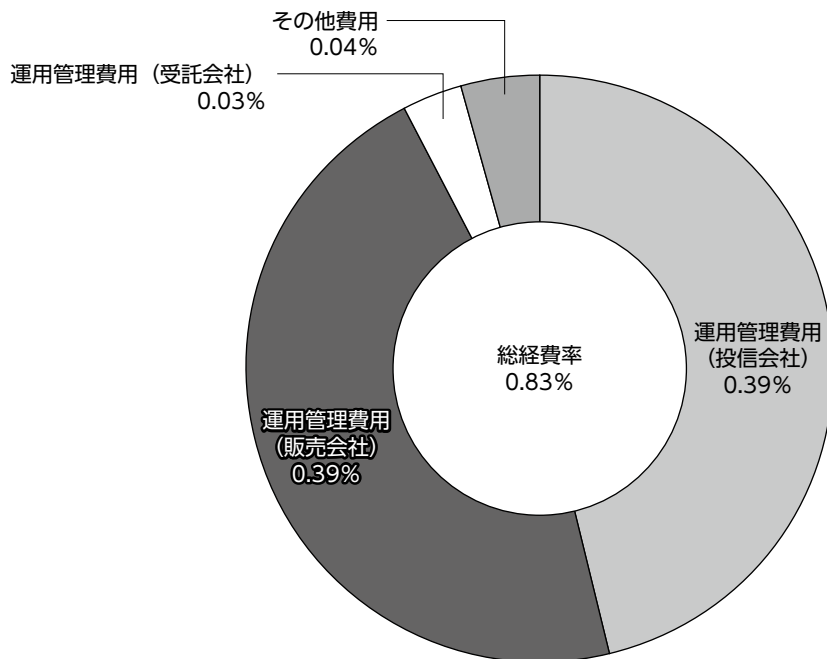
(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注 3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.83%**です。



（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 米国債券市場



(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

米国10年国債金利は期を通じて見ると低下しました。

期初から2023年12月末にかけては、米国における景況感指標の悪化や米連邦公開市場委員会（FOMC）参加者による金利予想で積極的な利下げが示唆されたことなどを背景に低下しました。2024年1月以降、労働市場をはじめ米国景気の堅調さが意識されたほか、インフレ圧力が市場の予想より高止まりするなど、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ観測が後退する中、じわじわと上昇傾向が続きました。6月以降は米サプライマネジメント協会（ISM）非製造業景況感指数や米消費者物価指数（CPI）、米生産者物価指数（PPI）の軟化により低下基調での推移となり、7月のFOMC会合においてパウエル議長が9月会合での利下げを示唆したことや、8月に発表された雇用統計で労働市場の軟化が見られたことなどから、金利は大幅に低下しました。9月中旬以降は、9月のFOMCにおいて利下げが実施されたものの、パウエル議長があくまで緩やかな利下げペースに留めることを示唆したことや、9月のISM非製造業景況感指数や雇用統計などの指標が堅調であったこと、11月の米大統領選で共和党のトランプ氏が当選し、財政拡張的な政策が実施されるとの観測などから、当期末にかけて上昇基調で推移しました。結局、期を通じて見ると米国10年国債金利は低下しました。

米国社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は期を通じて見ると縮小しました。

期初から2023年12月末にかけては、FOMC参加者が積極的な利下げを示唆したことなどから縮小しました。1月以降は、FRBによる利下げ期待が後退する中でも、労働市場をはじめ米国景気の堅調さが意識されたほか、米国企業決算についても軒並み堅調であったことなどを背景に、縮小傾向が続きました。8月に発表された雇用統計において労働市場の軟化が見られたことなどから一時的に拡大する場面もありましたが、9月に利下げが開始されたことを受けて企業による調達コストが低減するとの期待から、その後は縮小傾向となりました。当期末にかけては、トランプ氏の当選を受け、企業向け減税が企業の収益向上につながるとの期待から一段と縮小しました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を、原則として高位に保った運用を行いました。なお、実質組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

### ■マザーファンド

日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とし、個別銘柄分析に基づいて原則として各債券の満期日まで保有することで、安定した配当等収益を確保し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にアメリカ（32.6%）、イギリス（21.4%）、フランス（12.2%）としています。

格付別投資状況はA格（40.6%）、B B B格（59.4%）であり、平均格付けはB B B格を継続しました。

また、業種別構成比は、組入比率の高い順に、銀行（63.8%）、景気循環型消費財（11.2%）、エネルギー（9.1%）、テクノロジー（5.2%）としています。

（注1）比率はマザーファンドにおける対組入債券評価額比です。

（注2）格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

## ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2023年11月17日～2024年12月5日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	393円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

## ■マザーファンド

日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とし、個別銘柄分析に基づいて原則として各債券の満期日まで保有することで、安定した配当等収益を確保し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第1期末 2024年12月5日
ニッセイ米ドル建て社債I マザーファンド	109.5%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。

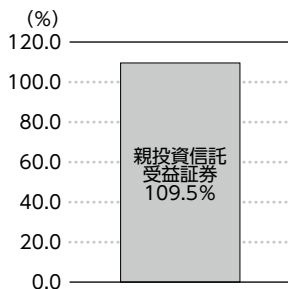
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

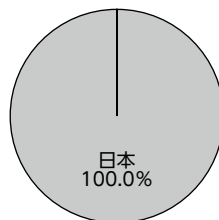
項目	第1期末 2024年12月5日
純資産総額	3,355,616,166円
受益権総口数	3,341,013,119口
1万口当たり基準価額	10,044円

(注) 当期間中における追加設定元本額は1,530,442,738円、同解約元本額は115,125,385円です。

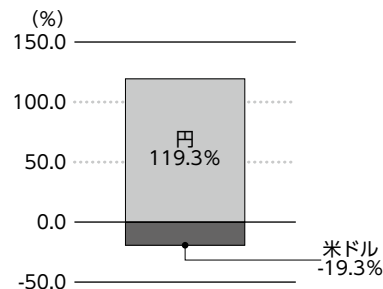
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



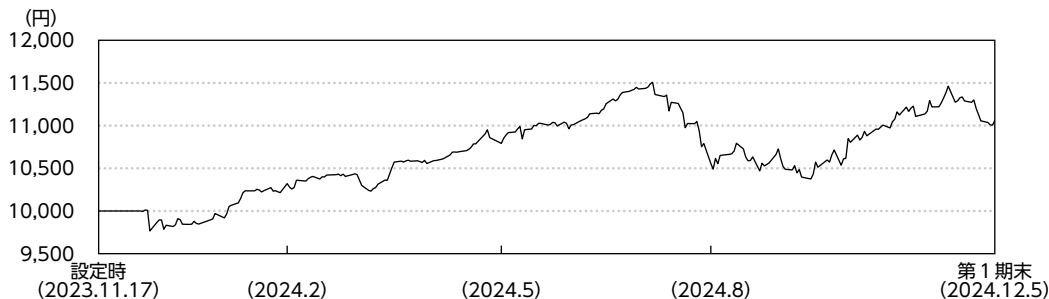
(注1) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年12月5日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が100%にならない場合があります。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注2) 通貨別配分については、実質組入比率を記載しています。



## ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンドの概要

### ■ 基準価額の推移



### ■ 上位銘柄

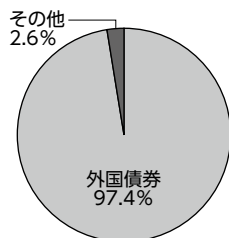
銘柄名	通貨	比率
DEUTSCHE BANK NY 2.311% 2027/11/16	米ドル	7.0%
PETROLEOS MEXICANOS 5.35% 2028/2/12	米ドル	6.8
STANDARD CHARTERED PLC 2.608% 2028/1/12	米ドル	6.5
SOCIETE GENERALE 2.797% 2028/1/19	米ドル	6.5
BNP PARIBAS 1.904% 2028/9/30	米ドル	5.7
BARCLAYS PLC 5.501% 2028/8/9	米ドル	5.7
HSBC HOLDINGS PLC 4.755% 2028/6/9	米ドル	5.6
BANCO SANTANDER SA 4.175% 2028/3/24	米ドル	5.6
FORD MOTOR CREDIT CO LLC 6.8% 2028/5/12	米ドル	5.6
UBS GROUP AG 6.442% 2028/8/11	米ドル	5.3
組入銘柄数	50	

### ■ 1万口当たりの費用明細

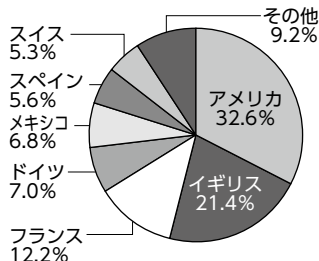
2023.11.17～2024.12.5

項目	金額
その他費用 (保管費用)	3円 (1)
(その他)	(2)
合計	3

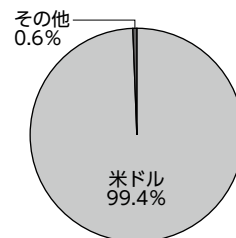
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2024年12月5日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2023年11月17日	円 10,000	円 －	% －	円 10,000	% －	百万円 1,925
1期(2024年12月5日)	10,044	0	0.4	10,044	106.7	3,355

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
(設定日)2023年11月17日	円 10,000	% －	% －
11月末	9,997	△0.0	－
12月末	9,988	△0.1	67.9
2024年1月末	10,000	0.0	99.5
2月末	10,050	0.5	100.5
3月末	10,080	0.8	101.3
4月末	10,096	1.0	103.9
5月末	10,057	0.6	104.8
6月末	10,015	0.2	108.9
7月末	9,991	△0.1	104.5
8月末	10,027	0.3	100.2
9月末	10,043	0.4	99.5
10月末	10,082	0.8	106.1
11月末	10,032	0.3	106.9
(期末) 2024年12月5日	10,044	0.4	106.7

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は設定日比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年11月17日～2024年12月5日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド	3,463,520	3,450,365	140,921	154,928

（注）単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2023年11月17日～2024年12月5日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2024年12月5日現在

種類	当期末	
	口数	評価額
	千口	千円
ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド	3,322,599	3,675,126

（注1）単位未満は切り捨てています。

（注2）当期末におけるニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド全体の口数は3,322,599千口です。

投資信託財産の構成

2024年12月5日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド	3,675,126	99.6
コール・ローン等、その他	15,380	0.4
投資信託財産総額	3,690,507	100.0

（注1）外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月5日における邦貨換算レートは、1米ドル150.38円です。

（注2）ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,653,022千円）の投資信託財産総額（3,675,196千円）に対する比率は99.4%です。

（注3）評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年12月5日現在)

項目	当期末
(A) 資産	7,187,649,813円
コール・ローン等	15,233,035
ニッセイ米ドル建て社債 マザーファンド(評価額)	3,675,126,857
未収入金	3,497,289,921
(B) 負債	3,832,033,647
未払金	3,816,663,985
未払信託報酬	15,204,651
その他未払費用	165,011
(C) 純資産総額(A-B)	3,355,616,166
元本	3,341,013,119
次期繰越損益金	14,603,047
(D) 受益権総口数	3,341,013,119口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,044円

(注) 設定元本額	1,925,695,766円
期中追加設定元本額	1,530,442,738円
期中一部解約元本額	115,125,385円

## 損益の状況

当期 (2023年11月17日～2024年12月5日)

項目	当期
(A) 配当等収益	8,506円
受取利息	8,611
支払利息	△ 105
(B) 有価証券売買損益	48,683,398
売却益	379,722,401
売却損	△331,039,003
(C) 信託報酬等	△ 28,499,032
(D) 当期損益金(A+B+C)	20,192,872
(E) 追加信託差損益金*	△ 5,589,825
(売却損益相当額)	(△ 5,589,825)
(F) 合計(D+E)	14,603,047
次期繰越損益金(F)	14,603,047
追加信託差損益金	△ 5,589,825
(配当等相当額)	( 2,069,407)
(売却損益相当額)	(△ 7,659,232)
分配準備積立金	129,546,001
繰越欠損金	△109,353,129

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売却損益相当額に区分します。設定時の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	129,546,001円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	2,069,407円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円
(e) 分配対象額(a+b+c+d)	131,615,408円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	393.94円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	2023年11月17日～2028年11月30日		
運 用 方 針	①ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。		
主要運用対象	限 定 追 加 型 ニッセイ米ドル建て社債ファンド 2023-11（為替ヘッジあり）	ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド受益証券	
	ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド	米ドル建ての公社債	
運 用 方 法	限 定 追 加 型 ニッセイ米ドル建て社債ファンド 2023-11（為替ヘッジあり）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。		

# ニッセイ米ドル建て社債 I マザーファンド

## 運用報告書

第 1 期

(計算期間：2023年11月17日～2024年12月5日)

### 運用方針

- ①主に米ドル建ての公社債への投資を行い、安定した配当等収益の確保をめざして運用を行います。
- ②債券への投資にあたっては、原則として各債券の満期日まで保有します。ただし、信用リスク等の観点から、満期日前または繰上償還日前に組入債券を売却する場合があります。組入債券を売却した場合、組入債券が満期償還や早期償還により償還される場合には、別の債券への再投資を行うこともあります。

### 主要運用 対象

米ドル建ての公社債

### 運用方法

- 以下の様な投資制限のもと運用を行います。
- ・ 株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。
  - ・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# 運用経過

2023年11月17日～2024年12月5日

## 投資環境

### ■ 米国債券市況



(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

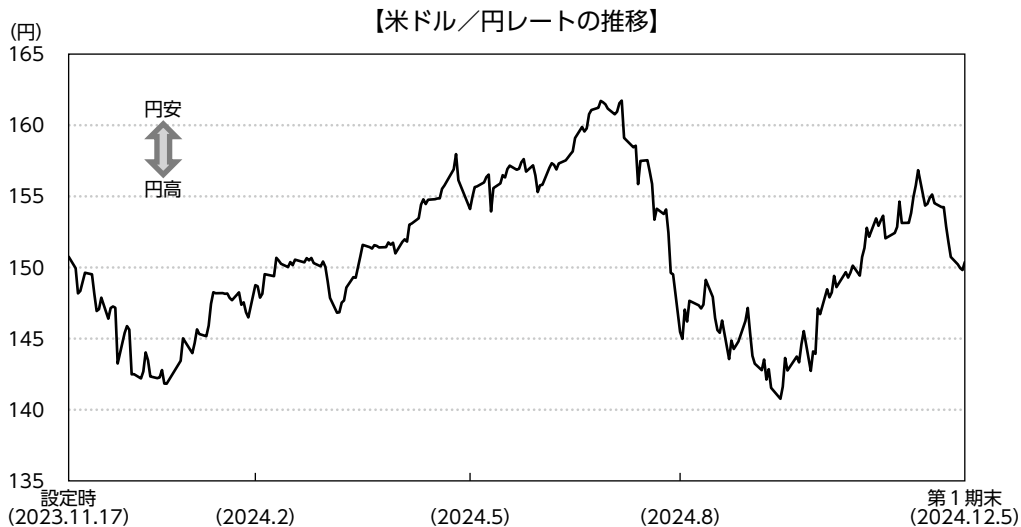
米国10年国債金利は期を通じて見ると低下しました。

期初から2023年12月末にかけては、米国における景況感指標の悪化や米連邦公開市場委員会（FOMC）参加者による金利予想で積極的な利下げが示唆されたことなどを背景に低下しました。2024年1月以降、労働市場をはじめ米国景気の堅調さが意識されたほか、インフレ圧力が市場の予想より高止まりするなど、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ観測が後退する中、じわじわと上昇傾向が続きました。6月以降は米サプライマネジメント協会（ISM）非製造業景況感指数や米消費者物価指数（CPI）、米生産者物価指数（PPI）の軟化により低下基調での推移となり、7月のFOMC会合においてパウエル議長が9月会合での利下げを示唆したことや、8月に発表された雇用統計で労働市場の軟化が見られたことなどから、金利は大幅に低下しました。9月中旬以降は、9月のFOMCにおいて利下げが実施されたものの、パウエル議長があくまで緩やかな利下げペースに留めることを示唆したことや、9月のISM非製造業景況感指数や雇用統計などの指標が堅調であったこと、11月の米大統領選で共和党のトランプ氏が当選し、財政拡張的な政策が実施されるとの観測などから、当期末にかけて上昇基調で推移しました。結局、期を通じて見ると米国10年国債金利は低下しました。

米国社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は期を通じて見ると縮小しました。

期初から2023年12月末にかけては、FOMC参加者が積極的な利下げを示唆したことなどから縮小しました。1月以降は、FRBによる利下げ期待が後退する中でも、労働市場をはじめ米国景気の堅調さが意識されたほか、米国企業決算についても軒並み堅調であったことなどを背景に、縮小傾向が続きました。8月に発表された雇用統計において労働市場の軟化が見られたことなどから一時的に拡大する場面もありましたが、9月に利下げが開始されたことを受けて企業による調達コストが低減するとの期待から、その後は縮小傾向となりました。当期末にかけては、トランプ氏の当選を受け、企業向け減税が企業の収益向上につながるとの期待から一段と縮小しました。

## ■為替市況



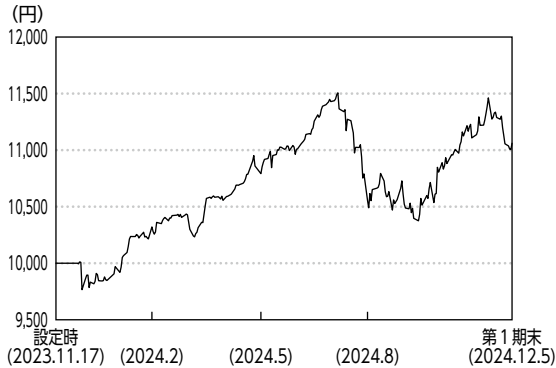
(注) 対顧客電信売買相場仲値のデータを使用しています。

米ドル／円レートは期を通じて見るとおおむね同水準となりました。

期初から2023年12月末にかけてはF R Bによる早期利下げ開始期待を背景に日米短期金利差が縮小し、米ドル安円高基調で推移しました。2024年に入ると日銀の金融緩和政策修正観測の後退や米国の早期利下げ観測の後退により米ドル高円安となりました。7月中旬からは本邦通貨当局による為替介入が行われたことや、日銀が7月会合で利上げを実施するとの観測が高まったことで、低金利の円を借りて高金利資産を買うキャリートレードの巻き戻しが進み、米ドル安円高基調に転じました。9月中旬から当期末にかけては、F R Bによる利下げ期待が後退したことや、11月の米大統領選で共和党のトランプ氏が当選し、財政拡張的な政策が実施されるとの観測等から日米短期金利差が拡大し、再度、米ドル高円安基調に転じました。結局、期を通じて見ると米ドル／円レートはおおむね同水準となりました。



## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・米国社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したこと等
- ・保有する債券からの利息収入等
- ・1月から7月上旬と、9月中旬から当期末にかけては、米ドル高円安が進んだこと等

#### <下落要因>

- ・7月中旬から9月中旬にかけて、米ドル安円高が進んだこと

## ポートフォリオ

日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とし、個別銘柄分析に基づいて原則として各債券の満期日まで保有することで、安定した配当等収益を確保し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における国・地域別投資状況は組入比率の高い順にアメリカ（32.6%）、イギリス（21.4%）、フランス（12.2%）としています。

格付別投資状況はA格（40.6%）、B B B格（59.4%）であり、平均格付けはB B B格を継続しました。

また、業種別構成比は、組入比率の高い順に、銀行（63.8%）、景気循環型消費財（11.2%）、エネルギー（9.1%）、テクノロジー（5.2%）としています。

(注1) 比率は対組入債券評価額比です。

(注2) 格付はムーディーズ社、S & P社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

日本を含む各国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とし、個別銘柄分析に基づいて原則として各債券の満期日まで保有することで、安定した配当等収益を確保し、信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中 騰落率	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2023年11月17日	円 10,000	% —	% —	百万円 1,925
1 期 (2024年12月 5 日)	11,061	10.6	97.4	3,675

(注 1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注 2) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
(設定日) 2023年11月17日	円 10,000	% —	% —
11月末	10,000	0.0	—
12月末	9,847	△ 1.5	68.8
2024年 1 月末	10,238	2.4	97.1
2 月末	10,432	4.3	96.8
3 月末	10,583	5.8	96.6
4 月末	10,902	9.0	96.4
5 月末	10,996	10.0	96.2
6 月末	11,388	13.9	96.1
7 月末	10,940	9.4	95.8
8 月末	10,562	5.6	95.6
9 月末	10,536	5.4	95.3
10月末	11,228	12.3	96.0
11月末	11,056	10.6	97.5
(期末) 2024年12月 5 日	11,061	10.6	97.4

(注) 騰落率は設定日比です。

1 万口当たりの費用明細

2023年11月17日～2024年12月5日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.026%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(2)	(0.015)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.026	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,677円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年11月17日～2024年12月5日

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	特殊債券	千米ドル 1,504	千米ドル —
		社債券	21,436	—

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年11月17日～2024年12月5日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
DEUTSCHE BANK NY	231,108	—	—
SOCIETE GENERALE	216,822		
PETROLEOS MEXICANOS	215,830		
STANDARD CHARTERED PLC	215,525		
BARCLAYS PLC	195,662		
HSBC HOLDINGS PLC	192,886		
FORD MOTOR CREDIT CO LLC	192,543		
BANCO SANTANDER SA	190,829		
BNP PARIBAS	190,822		
UBS GROUP AG	182,106		

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2024年12月5日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	24,280	23,813	3,581,075	97.4	—	—	97.4	—
合計	—	—	3,581,075	97.4	—	—	97.4	—

(注1) 外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

(注2) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

(注3) 格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

ニッセイ米ドル建て社債Ⅰ マザーファンド

(外国公社債の内訳)

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					邦貨換算金額	
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
特殊債券	PETROLEOS MEXICANOS	5.3500	2028/02/12	1,790	1,649	248,122
社債券	AES CORP/THE	5.4500	2028/06/01	100	101	15,232
	AIR LEASE CORP	4.6250	2028/10/01	200	199	29,978
	AIRCASTLE LTD	6.5000	2028/07/18	200	208	31,422
	ALLY FINANCIAL INC	7.1000	2027/11/15	830	879	132,209
	AMERICAN TOWER CORP	5.2500	2028/07/15	100	101	15,288
	ARCELORMITTAL SA	6.5500	2027/11/29	100	104	15,760
	AVIATION CAPITAL GROUP	6.2500	2028/04/15	200	207	31,248
	AVOLON HOLDINGS FNDG LTD	6.3750	2028/05/04	200	207	31,256
	BANCO SANTANDER SA	4.1750	2028/03/24	1,400	1,375	206,845
	BANK OF AMERICA CORP	3.8240	2028/01/20	100	98	14,769
	BARCLAYS PLC	5.5010	2028/08/09	1,380	1,398	210,373
	BAT INTL FINANCE PLC	4.4480	2028/03/16	100	99	14,928
	BNP PARIBAS	1.9040	2028/09/30	1,520	1,399	210,410
	BOSTON PROPERTIES LP	6.7500	2027/12/01	200	209	31,527
	CAPITAL ONE FINANCIAL CO	1.8780	2027/11/02	200	189	28,447
	CENTENE CORP	2.4500	2028/07/15	100	90	13,682
	CHARLES SCHWAB CORP	3.2000	2028/01/25	100	96	14,455
	CITIGROUP INC	3.8870	2028/01/10	100	98	14,774
	CONCENTRIX CORP	6.6000	2028/08/02	1,110	1,143	171,947
	DANSKE BANK A/S	4.2980	2028/04/01	400	395	59,418
	DEUTSCHE BANK NY	2.3110	2027/11/16	1,790	1,702	255,982
	DISCOVERY COMMUNICATIONS	3.9500	2028/03/20	100	95	14,427
	ENERGY TRANSFER LP	4.9500	2028/06/15	100	100	15,149
	EQUITABLE HOLDINGS INC	4.3500	2028/04/20	100	98	14,871
	FIFTH THIRD BANCORP	1.7070	2027/11/01	200	188	28,412
	FORD MOTOR CREDIT CO LLC	6.8000	2028/05/12	1,310	1,368	205,720
	GENERAL MOTORS FINL CO	5.8000	2028/06/23	200	205	30,968
	GLENCORE FUNDING LLC	5.4000	2028/05/08	100	101	15,326
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	2.6400	2028/02/24	100	95	14,378
	HCA INC	5.6250	2028/09/01	100	102	15,392
	HSBC HOLDINGS PLC	4.7550	2028/06/09	1,380	1,376	206,993
	HYUNDAI CAPITAL AMERICA	5.6800	2028/06/26	100	102	15,417

# ニッセイ米ドル建て社債 I マザーファンド

銘柄名		利率	償還年月日	額面金額	評価額	
					邦貨換算金額	
アメリカ		%		千米ドル	千米ドル	千円
社債券	JBS USA/FOOD/FINANCE	5.1250	2028/02/01	100	100	15,085
	JEFFERIES FIN GROUP INC	5.8750	2028/07/21	200	206	31,068
	LINCOLN NATIONAL CORP	3.8000	2028/03/01	100	97	14,625
	LLOYDS BANKING GROUP PLC	3.7500	2028/03/18	400	390	58,714
	MACQUARIE GROUP LTD	1.9350	2028/04/14	200	186	28,088
	MICRON TECHNOLOGY INC	5.3750	2028/04/15	100	101	15,330
	MORGAN STANLEY	2.4750	2028/01/21	100	95	14,354
	NATWEST GROUP PLC	3.0730	2028/05/22	400	383	57,655
	NISSAN MOTOR ACCEPTANCE	2.7500	2028/03/09	1,110	986	148,365
	SOCIETE GENERALE	2.7970	2028/01/19	1,660	1,580	237,646
	STANDARD CHARTERED PLC	2.6080	2028/01/12	1,660	1,583	238,145
	TRUIST FINANCIAL CORP	4.1230	2028/06/06	200	197	29,634
	UBS GROUP AG	6.4420	2028/08/11	1,240	1,288	193,795
	US BANCORP	4.5480	2028/07/22	200	199	29,962
	VAR ENERGI ASA	7.5000	2028/01/15	400	426	64,085
	VENTAS REALTY LP	4.0000	2028/03/01	100	98	14,743
	WELLS FARGO & COMPANY	3.5840	2028/05/22	100	97	14,630
合計		—	—	—	—	3,581,075

## 投資信託財産の構成

2024年12月5日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 3,581,075	% 97.4
コール・ローン等、その他	94,120	2.6
投資信託財産総額	3,675,196	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお12月5日における邦貨換算レートは、1米ドル150.38円です。

(注2) 外貨建純資産（3,653,022千円）の投資信託財産総額（3,675,196千円）に対する比率は99.4%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年12月5日現在)

項目	当期末
(A) 資産	3,675,196,609円
コール・ローン等	52,663,411
公社債(評価額)	3,581,075,634
未収利息	41,457,564
(B) 負債	147,661
未払解約金	147,661
(C) 純資産総額(A-B)	3,675,048,948
元本	3,322,599,094
次期繰越損益金	352,449,854
(D) 受益権総口数	3,322,599,094口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,061円

- (注1) 設定元本額 1,925,695,766円  
 期中追加設定元本額 1,537,824,845円  
 期中一部解約元本額 140,921,517円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。  
 限定追加型 ニッセイ米ドル建て社債ファンド2023-11 (為替ヘッジあり) 3,322,599,094円

## 損益の状況

当期 (2023年11月17日～2024年12月5日)

項目	当期
(A) 配当等収益	157,655,906円
受取利息	157,396,529
その他収益金	311,520
支払利息	△ 52,143
(B) 有価証券売買損益	222,889,608
売買益	223,325,848
売買損	△ 436,240
(C) 信託報酬等	△ 934,313
(D) 当期損益金(A+B+C)	379,611,201
(E) 追加信託差損益金	△ 13,154,629
(F) 解約差損益金	△ 14,006,718
(G) 合計(D+E+F)	352,449,854
次期繰越損益金(G)	352,449,854

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。